

# Accuphase

CLASS-A MONOPHONIC POWER AMPLIFIER

## A-250

- 純A級動作、100W/8Ωのハイ・クオリティ・パワー●2台の完全同一回路のパワーアンプ・ユニットを並列駆動●出力段は「パワー・MOSFET」20バラレル・プッシュプル構成、1Ωの超低インピーダンスまでリニアなハイパワーを実現●入力部は、ダブル構成のインストルメンテーション・アンプ方式を導入●増幅部に「Double MCS+回路」と「カレント・フィードバック増幅回路」を搭載●A-250を2台使用したブリッジ接続により、さらに出力の増強可能●高効率大型トroidal・トランスと大容量フィルター・コンデンサーによる強力電源部





# 先達を超える優れた音楽表現力と堂々たる風格

極限の低雑音化により歴代最高のSN比127dBを実現、ノイズから解放された音楽の繊細な再現性を追求。『半導体(MOSFET)スイッチ』を搭載した無接点化による出力回路や左右に配置した『純A級動作』のパワーユニットを並列動作させる究極の構成で実現した純A級100W/8Ωの卓越した出力とダンピングファクター1,000を超える強力な駆動力で、新次元の音楽表現力を獲得。A-250は堂々たる風格を備え、パワーアンプの最高峰として新たな歴史を刻みます。

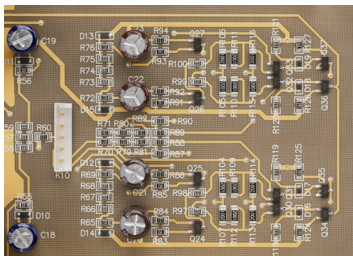
## Developed: 先進の技術

### ■ 信号経路は、ダブルのインストルメンテーション・アンプ方式を導入してフルバランス伝送化

A-250は、完全ディスクリート構成による最新の『インストルメンテーション・アンプ(Instrumentation Amplifier)』を導入、ダブル構成としています。この方式は、パワーアンプ全体で、信号経路をフルバランス伝送化しています。このため、機器内で発生する雑音を除去する能力やひずみ率などの諸性能に優れ、環境変化に非常に強く、パワーアンプとしての安定度・信頼性が飛躍的に向上しています。

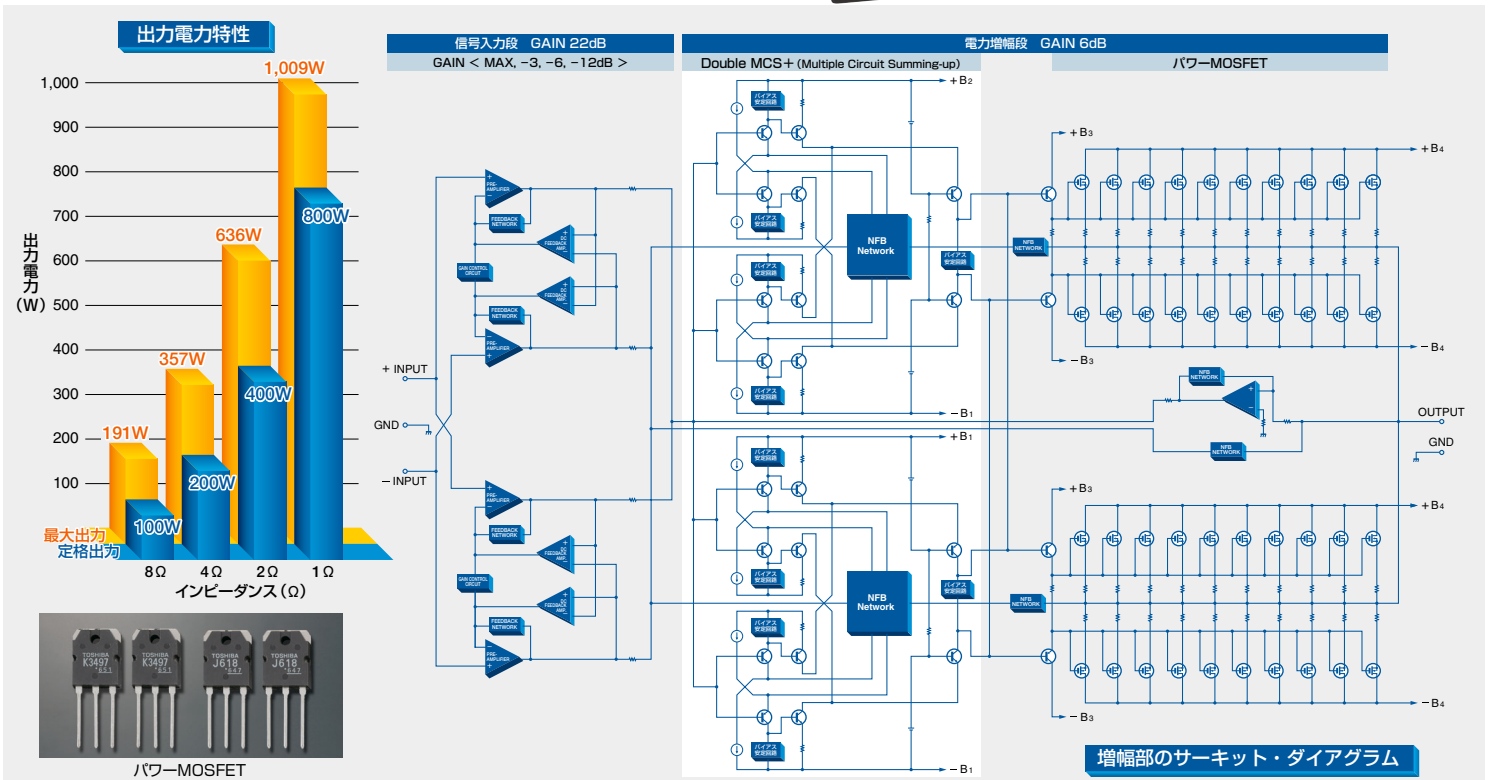
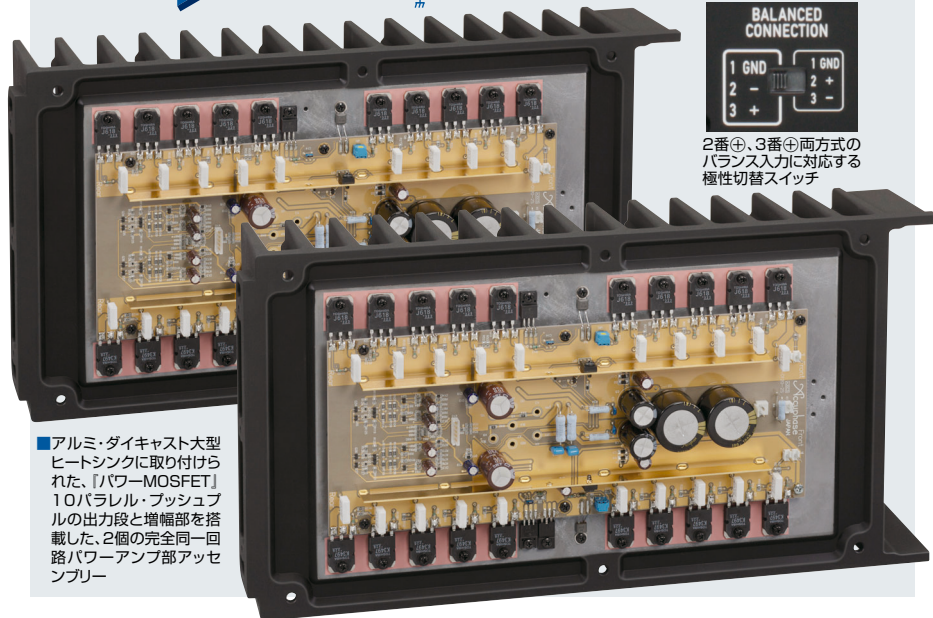
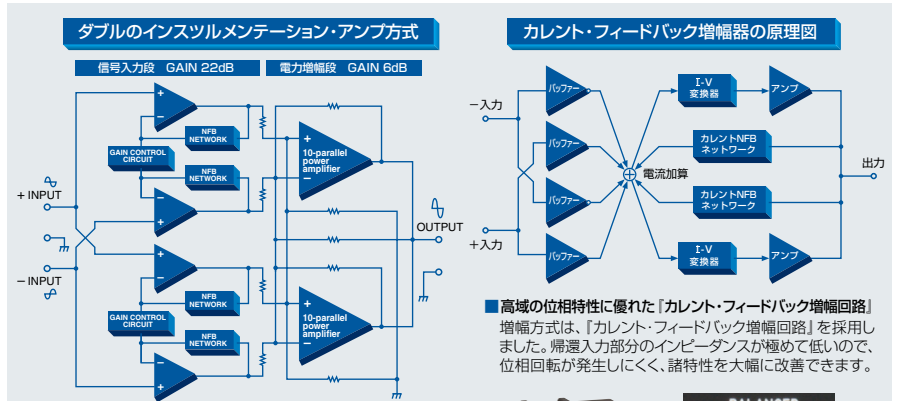
### ■ 増幅部は、『Double MCS (Multiple Circuit Summing-up) + 回路』を搭載して、当社歴代最高のSN比を実現

『Double MCS+回路』は信号を増幅するユニットを4回路並列接続することで低雑音化を図り、SN比、ひずみ率など諸特性が向上、一段と優れた音質を実現しました。



### ■ 完全同一回路のパワーアンプ・ユニットを2台並列動作

下図「増幅部のサーキット・ダイアグラム」に示すように、本機の電力増幅段は、Nチャンネル及びPチャンネル『パワーMOSFET』がそれぞれ10パラレル接続されたパワー・ユニット構成で、この完全同一回路の2台のパワーアンプ・ユニットを筐体の左右に配置して並列駆動、合計で20パラレル構成とし、電気的・重量的・放熱効果等で安定したバランスを保っています。並列駆動することにより総許容電力損失値は実に5.2kWに達し、その結果パワーMOSFET 1個あたりのパワーの負担が軽くなり、MOSFETの直線性に優れた領域を効率よく使うことができます。



# 技術の粋



# 伝統の美



超弩級の純A級モノフォニック・パワーアンプ  
パワーアンプの最高峰として技術の粋を集め、選び抜いた  
素材など全てに贅を尽したA-250は、上質な輝きを放つ  
シャンパンゴールドのパネルフェースと極厚のアルミ素材  
を切削加工し、ヘアライン加工を施した美しいトッププレート  
に包まれて、優美で重厚な雰囲気醸し出しています。



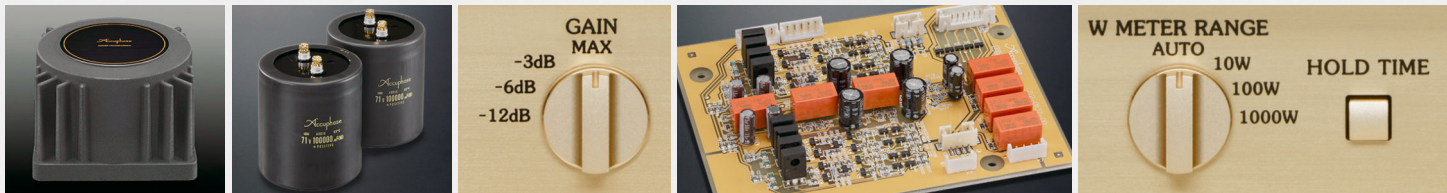
Feature: 特長

- 『パワー・MOSFET』20パラレル・プッシュプルにより800W/1Ω (音楽信号)、400W/2Ω、200W/4Ω、100W/8Ωのリニア・パワーを実現
- 新開発の高効率大型トイダル・トランスと100,000μF×2の大容量フィルター・コンデンサーにより強力電源部を構成
- パワーアンプ部アセンブリのプリント基板に、低誘電率・低損失の《ガラス布フッ素樹脂基材》を採用
- 残留ノイズも低減、4段階のゲイン・コントロール《MAX、-3dB、-6dB、-12dB》
- 『Yラグ』や『バナナ・プラグ』が挿入可能な、大型スピーカー端子を2組装備し、バイワイヤリング接続にも対応。
- プロテクションに『半導体 (MOSFET) スイッチ』を採用。接点不良がなく長期信頼性に優れ、また音楽信号が機械的接点を通らないため一層の音質向上に寄与
- 外来雑音を受けにくい完全バランス入力回路

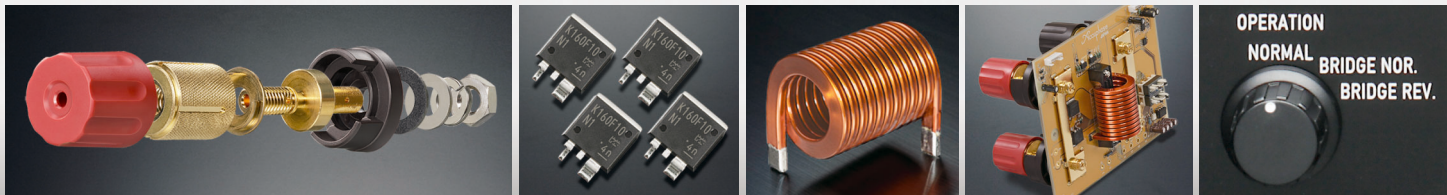
- 『OPERATION』スイッチでA-250を2台使用したバイアンプ接続やブリッジ接続が可能。ブリッジ接続により1,600W/2Ω (音楽信号)、800W/4Ω、400W/8Ωのモノフォニック・アンプにアップ・グレード
- デジタル (5桁の数字表示) と視認性を向上したバーグラフ (40ポイントLED表示) の2方式を切り替えて表示。ホールド・タイム切替ボタンを装備
  - メーター回路のON/OFF可能。
  - 真の電力値を表示するデジタル方式パワーメーター、ホール素子を用いて出力電流を検出。
  - パワーメーターレンジスイッチとパワーに追従するAUTOLレンジ機能を装備。
- 電源部や信号経路の主要部品類を金プレート化



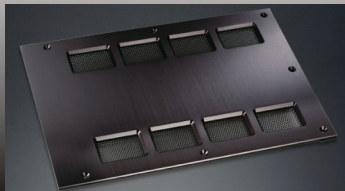
デジタル・パワーメーターとバーグラフ・メーター



高効率大型トイダル・トランス 100,000μFフィルター・コンデンサー ゲイン・コントロール・スイッチ バランスアンプ・アセンブリ デジタル・パワーメーターレンジスイッチ/ホールド・タイム切替ボタン



真鍮無垢材を切削加工して金プレート化した大型スピーカー端子 MOSFETスイッチ 極太エッジワイス・コイル プロテクション回路アセンブリ 『OPERATION』スイッチ



ヘアライン仕上げによるトップ・プレート



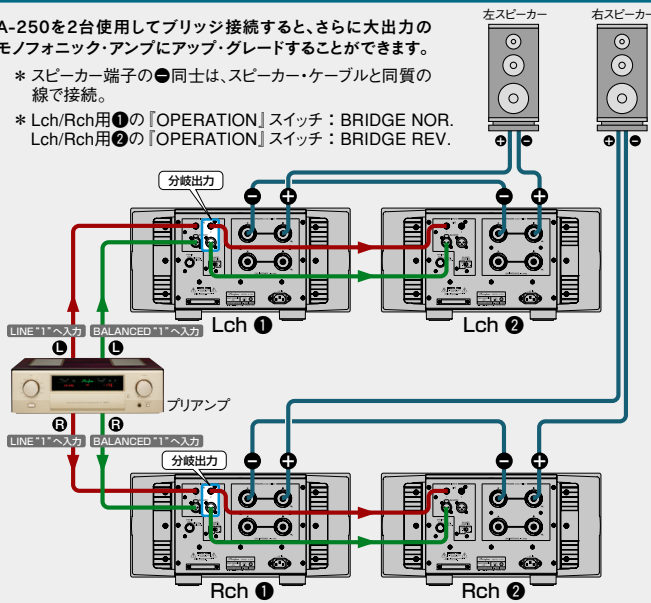
金プレート化されたパーツ類



### ブリッジ接続例

A-250を2台使用してブリッジ接続すると、さらに大出力のモノフォニック・アンプにアップ・グレードすることができます。

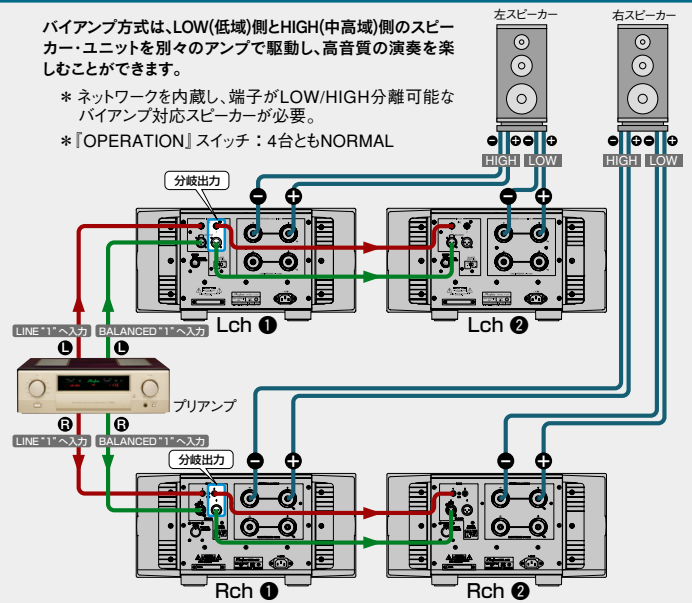
- \* スピーカー端子の●同士は、スピーカー・ケーブルと同質の線で接続。
- \* Lch/Rch用①の「OPERATION」スイッチ：BRIDGE NOR.
- \* Lch/Rch用②の「OPERATION」スイッチ：BRIDGE REV.



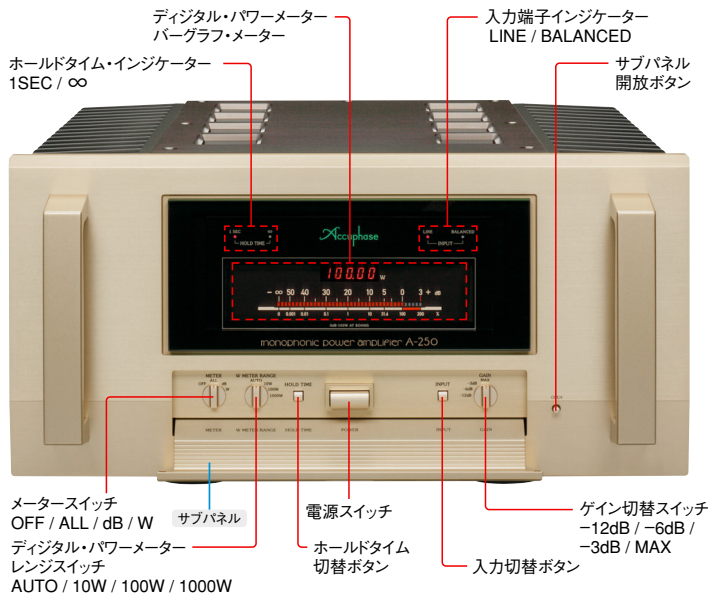
### バイアンプ接続例

バイアンプ方式は、LOW(低域)側とHIGH(中高域)側のスピーカー・ユニットを別々のアンプで駆動し、高音質の演奏を楽しむことができます。

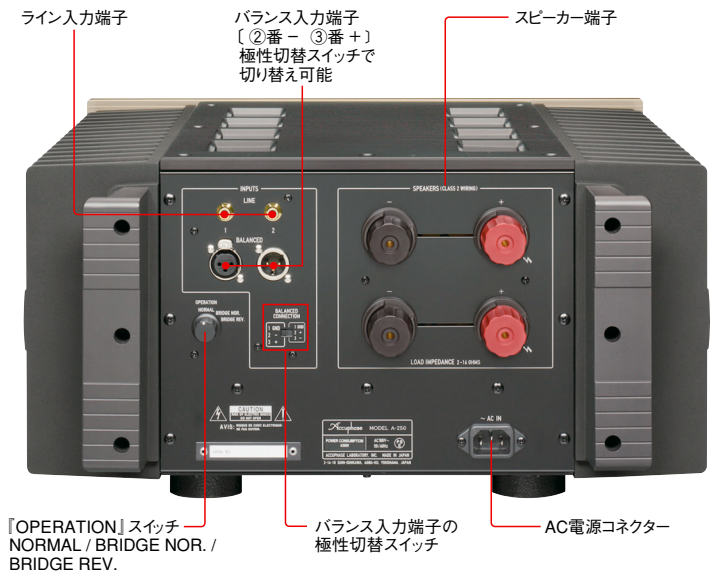
- \* ネットワークを内蔵し、端子がLOW/HIGH分離可能なバイアンプ対応スピーカーが必要。
- \* 「OPERATION」スイッチ：4台ともNORMAL



### フロントパネル



### リアパネル



### A-250 保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

定格連続平均出力(20~20,000Hz間)	800W/1Ω ※1	注意：(※1)印の負荷は、音楽信号に限る。
ノーマル仕様時	400W/2Ω	(※2)純A級出力領域は100W。
	200W/4Ω	
	100W/8Ω ※2	
ブリッジ接続(2台)	1,600W/2Ω ※1	
	800W/4Ω	
	400W/8Ω	
全高調波ひずみ率	0.05%	2Ω 負荷
	0.03%	4~16Ω 負荷
IMひずみ率	0.01%	
周波数特性	定格連続平均出力時：20~20,000Hz +0 -0.2dB	
	1W出力時：0.5~160,000Hz +0 -3.0dB	
ゲイン(利得)	28.0dB (GAINスイッチ：MAX時)	
ゲイン切替	MAX、-3dB、-6dB、-12dB	
負荷インピーダンス	連続出力仕様時：2~16Ω	
	音楽信号時：1~16Ω	
ダンピング・ファクター	1.000	
入力感度(8Ω負荷)	1.13V 定格連続平均出力時	
	0.11V 1W出力時	

入力インピーダンス	バランス ライン	40kΩ 20kΩ
S/N (A補正、入力ショート)	127dB GAINスイッチ 133dB GAINスイッチ	MAX -12dB
出力メーター	デジタル・パワーメーター 真のパワー(W)を5桁で表示 レンジ切替 AUTO/10W/100W/1,000W バーグラフ・メーター 出力の電圧値(dB)を40ポイントで表示 ホールド・タイム(ピーク時の表示保持時間) 1秒/∞ 切替式 *表示消灯機能付き	
電源	AC100V	50/60Hz
消費電力	300W 無入力時 430W 電気用品安全法 340W 8Ω負荷定格出力時	
最大外形寸法	幅465mm×高さ238mm×奥行514mm	
質量	46.0kg	

付属品 ●AC電源コード APL-1



### 安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 密閉されたラック内や水、湯気、ほこり、油、煙などの多い場所に設置しない。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

**5年間保証** 本機の保証期間はご購入日から5年間です。保証書は本体付属の「お客様カード」をお送り頂き、登録後お届けします。

※本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。 <http://www.accuphase.co.jp/>  
2017年4月作成 D1710Y PRINTED IN JAPAN 850-0203-00 (B1)



ACCUPHASE LABORATORY, INC.  
アキュフェーズ株式会社  
〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10  
TEL.045-901-2771(代) FAX.045-902-5052